

米沢有為会 東京支部だより

vol. 22

発行／(公社)米沢有為会東京支部 発行人／鈴木 信之 発行日／平成30年12月20日
〒182-0004 東京都調布市入間町1-3-6 東京興議館内 TEL/FAX 03-3309-3302
米沢有為会ホームページ <http://www.yonezawa-yuukai.org/>



東京支部総会 笑顔の記念写真

巻頭言



「時代を継ぎ、平和を紡ぐ 平成最後の年に」

JFEホールディング社友 齋藤 脩

天安門事件に続くベルリンの壁の崩壊で幕を開けた平成の時代は、後世に世界史の大きな転換点と記憶されるに違いない。またその最後の年に当たる今年も、様々な過去との節目の年でもある。

日中友好条約四十周年とアメリカの相対化への序章

鄧小平の改革開放路線に指導された中国は、GDPでは既に2010年に日本を追い抜き、2030年頃には、アメリカをも超えると言われる。今、自国第一主義を掲げるトランプ大統領の下で、アメリカ主導の自由貿易体制を支えてきた国際的な仕組みは崩壊の危機に瀕している。

このことは唯一の覇権国家であり続けたアメリカ自身が衰退過程に入った象徴とも言える。自由と民主主義という西欧の近代が確立した普遍的な価値を基軸にした世界秩序も、中国、インドさらにはイスラムなどの挑戦を受け、世界の将来像は混迷を深めている。

翻って、敗戦後アメリカへの従属的な依存を続けてきた我が国も、中国の大国化を契機としたアジアの地政学的な地殻変動を直視して、将来に向けての賢明なパラダイムシフトが求められている。

不都合な真実を直視して“成熟した小さき品格国家”へ舵切を

団塊世代として高度成長、プラザ合意、バブル崩壊、リーマンショックを企業社会で体験してきた小生には、かつてのモノづくりによる高度成長再現ビジョンは幻想でしかありえない。

我が国の人口は、2004年をピークに減少に転じたが、2050年には40%を高齢者が占める9500万人となり、生産労働力人口も5000万人を割り込むと推計されている。

経済の最も基本となる人口動態の趨勢に見合った国づくりが求められるが、その将来像に経済・軍事において

“中国”との対抗という選択肢はない。戦後蓄積されてきた“国富”と平和外交を基礎に、品格のある自立自尊の平和小国を目指すべきではないだろうか。

名君鷹山公が実行された、自然と共生、高齢者や幼い命を国の宝として地域で相互扶助する諸施策の中にヒントが隠されているような気がしている。

戊辰150年と日本国憲法と平和主義

政府が唐突に明治維新150年を顕彰すると発表したのに対応して、会津を中心に旧奥羽越列藩同盟の一部地域で記念行事が展開されている。会津藩の降伏が9月、明治への改元が10月である。敢えて分断と不信を助長するような政府の意図に危惧の念を覚える。

戊辰戦争という内戦を経て近代に突入した我が国は、その後太平洋戦争の敗戦により旧体制は崩壊した。内外に未曾有の犠牲をもたらした戦争の惨禍を二度と繰り返してはならないという世界の願いが結実したのが日本国憲法である。

現行憲法は、国民主権と基本的人権という普遍的価値と平和主義という固有の原理を三つの柱にして成り立っている。この平和主義に依拠した戦後の国づくりが、70年以上の平和な時間と海外からの独特の尊敬を我が国にもたらしてきた。しかしながらあの大戦に導いた思想を肯定しその復権を希求する人々の活動が今も続いている。

平成天皇・皇后は、即位のお言葉以来、先の大戦の戦禍の上に成立した現行憲法の順守と平和への祈りを言葉と行動で一貫して示されてきた。

国民の総意に基づく象徴天皇が、平成天皇から皇太子に引き継がれるにあたり、平和憲法のもとで、これまでの平和な時が引き継がれことを願って止まない。

(プロフィール)

昭和22年米沢市生れ 寒河江高校・東北大学法学部卒
日本鋼管入社、JFEエンジニアリング社長

第23回文化大学

平成29年9月30日(土)

於、東京興譲館

「本来の私」を生きるとは

―闇を照らし出す光の下で―

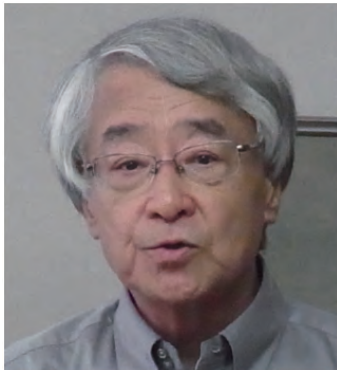
基督教独立学園高校 前校長

安積 力也

深層崩壊の時代です。岩盤の上にある物が全て崩れる。皆さんは、生きている自分の存在の土台をどこにおいていますか。

確かに見えるものは、いくらでもある。しかし確かに見えるものと、本当に確かなものとは、違う。今やあらゆる情報フェイクである。どちらが自分に取って都合が良いか選択しているだけである。若い世代の方は、自分の人生を賭けて確かなものを探そうとしていますか。闇闇の正体を見つめようとするれば、当然光が必要である。光には、2種類ある。闇を忘れさせてくれる光と闇の正体を照らし出す光である。

私は、国際基督教大学で修士課程を含め、8年を過ごした。当時は、全共闘運動が盛んで、学内が翻弄された。教育現場に進むことを決意した。卒業後、敬和学園高校(教頭)、日本聾話学校、恵泉女学園女子中学校・高等学校、基督教独立学園の3校の私立学校の校長を務めました。校長室のドアには、いつでもお入り下さいの札を出していた。恵泉女学園の時、中学1年の生徒が校長室に入ってきて



基督教独立学園は、東京帝大物理学科出身の鈴木弼美氏が創立者です。内村鑑三の聖書集會に参加していた学生です。彼は、内村鑑三の精神を基軸に、独立学園の教育の基本構造を構築した。内村の主

張する本当の人間教育の基本要件は何か。

第一、読むべきものは聖書
第二、学ぶべきものは、天然そして第三、なすべき事は労働
創立者は、内村の言う3つの大事な人間教育の必須要件を全部取り入れたカリキュラムと全寮制の共同体を創った。
1学年25名で教員は20数名の小規模の全日制の普通高校である。田んぼや野菜畑もあり堆肥作りもします。牛、豚、鶏の世話と朝夕の搾乳。牛の冬場の飼料作りのために山の斜面に有る牧草地に行つて草刈りをします。食料の半分は自給し、食事も生徒達が中心となつて作る。受験のための勉強はしない事を公言している。
一番大事にしているのは礼拝です。朝夕と日曜礼拝です。朝夕の礼拝のとき、生徒が自分の心にためているものを、自分に裏切らない言葉で表現する感話をしてもらう。
それを教員も率先としてやる。教員が心を閉じているのであれば、生徒は、心を開かない。不登校やいじめられた事や親の不仲などの悩みを語る事によつて呪縛から解放される。先生や先輩の感話を聞いた新入生は次のような話を全校生徒の前で公表している。「今の私は、ラムネ瓶のビー玉のようである。自分で作ってしまったラムネ瓶を壊

して外に出たい。」また東日本大震災後に「私の中に砂時計が有ります。気がついたら落ちた砂は二度と戻らない。今日という日を生きたい。」と感話で話した生徒もいる。
「死を覚えよ」は年令に関係なく共有できる確かなものである。「人間は必ず死ぬ。」これから生きる青年が、心の闇を直視する勇気を誰からも教えられていない。「嘘つかずに、真向かつてくれる大人に」に出会えない。この国の青年達の悲劇である。

皆さんは、いくつの顔を持っていますか。自分の素顔を見たことがありますか。私達は、自分自身に付けて、取れなくなった仮面の中にいる。現実の私と理想の私に乖離がある。どうせ私なんて、――。自分に負のレッテル付けて思い込んでいます。
「本来の私を」見出すための「自問」
「自問1」 皆さんは、「第二の誕生」をしたか。
「私達は、いわば、二回この世に生まれる。一回目は存在するために、二回目は生きるために。」
(ルソー『エミール』第4編)
大半の人は、内なる人を殺して生きている。これを演じ続けている内に、気がつけば、墓穴の前にいる。フランク・カフカの短編小説に「掟の門」がある。この場合の掟と

は、人間として確かな生き方を保証するものである。

しかし、この門には自分以外に誰一人として入れない。(自問2) あなたは、本当のところ何を願っている人間ですか。

他者の目が届かない一人の世界で自分と向き合う。
「主に自らをゆだねよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」
(旧約聖書 詩編37) 心の願いとは、心の奥のどん底の魂の求めである。

恵泉女学園の創設者である河井道氏には次のような言葉がある。
「誰もが、人間として未開の泉を持つて生まれて来ている。」
だから、人間は、尊厳を持っている。
最後に若い世代の方に言いたい。

「誰かが、人間として未開の泉を持つて生まれて来ている。」
だから、人間は、尊厳を持っている。
最後に若い世代の方に言いたい。
「誰かが、人間として未開の泉を持つて生まれて来ている。」
だから、人間は、尊厳を持っている。
最後に若い世代の方に言いたい。
「誰かが、人間として未開の泉を持つて生まれて来ている。」
だから、人間は、尊厳を持っている。
最後に若い世代の方に言いたい。

(プロフィール)
国際基督教大学大学院教育学修士課程修了(教育哲学専攻)
NHK Eテレ番組「心の時代」宗教・人生・宗教の時間に出演
著書…「教育の力」
岩波ブックレット

第24回文化大学

平成29年11月12日(土)

於・東京興譲館

「法律そぞろ歩き」

東京海洋大学名誉教授 佐藤 好明



講演の概要は、東京支部だより第21号に掲載されていますので、今回は、映画「マイフェアレディ」の再考に絞りますが、ご容赦願います。

映画の冒頭でオードリ・ヘップバーン扮する花売り娘の言動をノートに書き留めている密告者がいると、隣人が本人に注意する。娘は恐れ慄く。何故か？講演では、犯罪組織の密告で重大犯罪人に仕立てられ、最悪の場合、死刑にさえ追い込まれる危険があったことを指摘した。しかし、金を貰ったら商品の花を渡せとの忠告は、一七四四年の英国法の悪弊を背景に検討した方が、より現実的である。

同法は、乞食を捕まえて治安判事に引き渡すと報酬を貰える事を定めた。働ける者が怠惰から放浪・乞食・犯罪に

走る事を防止する為に、法執行に協力貢献した者に報奨金を与える事で、協力意欲を高めようとした。しかしその狙いとは裏腹に、法の濫用と警官の汚職を招いてしまった。

例を挙げれば、一八二〇年頃、或るコルセット職人が乞食を治安判事に連行した件数は五百件にも上り、一件当たり十シリングの報奨金になった。家族を捕らえると、父、母、幼子各一件で計三件として報奨金を水増し要求した。別の例では、乞食などせず、ただ通行証を貰いに来た放浪者に、警察官が、ほんの二ペンスほどを与えて、治安判事に連行して乞食をしたと偽証し、警察官本人が報奨金をせしめた。放浪者を誘って乞食させ、これを突き出し、貰った報奨金を放浪者に後で分配する馴れ合いの逮捕も、しばしば行われた。治安判事の記憶の曖昧さに乗じて、同一人物を乞食として何度も連行して、その度毎に報奨金をせしめる強者まで出た。この様な法の濫用と腐敗墮落が問題視

され、一八二四年法で完全に廃止された。

代金を貰っても花を渡さなければ、マイフェアレディが乞食の常習犯に仕立てられ、罰として鞭打ちされたり、枷(かせ)に繋がれたり、矯正院に投げ込まれる。それを娘が恐れたわけである。

従って時代は一八二四年前ではなくて時代は一八二四年前でない。意外なことに乞食規制法は、英国最初の救貧法たる一面を有した。一三八八年の法が、働けない乞食を働ける乞食と初めて区別して、一三九二年の法は、小教区の教会が、働けない貧者に生計の補助を配分すべきことを命じた。しかし、教会では払い切れない事態も生じ、働けない病弱者に、一定の区域内での乞食免許を治安判事が発行する様になった。

オックスフォード大等で貧しい大学生が、国元と大学の行き帰りに乞食をする事も、大学総長が出す許可状を持てば合法とされた。乞食の免許は、除隊後の兵士や難破船の船員にも出された。兵士や船員でもないのに、それを偽って乞食をする事は処罰された。兵士の場合は、一四七五フランスでの戦いからの帰途、

戦利品不足を埋め合わせようとして自国英国内で掠奪に走った例がある。乞食の許可ぐらいいは、対策として安上がりであった。

乞食の特異な免許には、監獄の費用を捻出する為に囚人自身に牢外で乞食をさせた例がある。ロンドンのニューゲイト監獄では、最初代理人に乞食をさせたが、ピン跳ねが余りにも酷いため、囚人自身にさせる事に一四三一年に変えた。ティムズ河畔と市内と二班に分けて囚人を証明する印付きの箱を持たせて乞食をさせたのである。病院維持費獲得の為の乞食も、詐欺は罰する条件付きで許可した。

この様に、怠惰による乞食を禁止・処罰する一方で、病弱者等止むを得ない乞食行為には免許を与えて救済しようとした。法の執行を急ぐ余りの報奨金が質した苛法的な要素がマイフェアレディを恐れと怒りに突き落とした。乞食の極めて断片的な法制史が、意外な人間模様と法の二面性を示している。

(プロフィール)

昭和35年米沢興譲館高校卒
一橋大学法学研究科博士課程
単位取得満期退学

専門は国際法
オックスフォード大学シニア・
アソシエイトメンバー

映画「マイフェアレディ」のポスター



第25回文化大学

平成30年4月28日(土) 於・東京興譲館

地域と医療の再生

上杉鷹山公に学ぶこと

日本病院共済会 堺 常雄



1 はじめに

皆さんは、医療は病気になった人が医療機関にかかるもので健康な人は関係ないとお考えかもしれませんがそうではなく多くの人が関係しています。

①利用者・社会、②政策決定者、③医療提供者がそうです。日本は国民皆保険制度を取り入れていますので、保険証一枚でこの医療機関を受診できますし、原則的には3割の自己負担で良質な医療を受けることができます。非常に恵まれた国といえます。

2 医療を取り巻く環境の変化

しかし、20世紀の中ごろから地域と医療を取り巻く環境が大きく変わってきました。少子・超高齢社会に突入し過疎地域が増え、一方で年々増大する社会保障費や変容する医療ニーズにどう応えるのかが大きな課題となってきました。

このような社会・財政状況は鷹山公が1767年に17歳で米沢藩の家督を相続したころの状況に似ています。鷹山公は幾多の困難を乗り越え、米沢藩の財政と産業の改革を行いました。私たちは鷹山公から学ぶことがあるのではないのでしょうか。

3 上杉鷹山公に学ぶ

グローバル社会で鷹山公を有名にしたのは1961年1月20日に43歳の若さで第35代アメリカ合衆国大統領に就任したジョン・F・ケネディです。彼は就任演説の中で次のように述べてい

ます。「アメリカ国民諸君、国があなたのために何ができるのかを問うのではなく、あなたが国のために何ができるのかを問うてほしい。」その後の記者会見で日本人記者が、「日本で最も尊敬する政治家は誰ですか？」と尋ねたところケネディは「上杉鷹山」と即答したということです。なぜ大統領が鷹山公を知っていたかは定かではありませんが、1894年に内村鑑三が英文で出版した「代表的日本人」を読んで鷹山公を知っていたのではないのでしょうか。以下に鷹山公の行った改革について触れてみます。

3つの大きな改革として、①財政の再建、②産業の改革、③精神の改革があります。ケネディに影響を与えたのは精神の改革に含まれる「三助（自助・互助・扶助）」の実践と思われる。他にも鷹山公が示したこととしては、「倫理（学問）」と「経済（現実）」の絶妙なバランス、行動、教育についての優れた指示などがあります。

1 医療再生で応用できる鷹山公の教え

この様に鷹山公が行った財政・産業改革は現在必要な医療再生で応用できることが多くあります。10の教えを挙げてみましたが、変革の時代に経営トップに求められるのは鷹山公が発想の転換を図ったように、今までのしがらみにとらわれることなく新たな価値創

造をすることです。

教えのベースは「慈愛」の政治ですがこれは「利用者中心の医療」の追及に通じ、「倫理」と「経済」のバランスは医療再生で大切な「診療の質」と「経営の質」の担保に通じます。

2 鷹山公が行った医療・社会福祉改革

鷹山公は西洋医学を積極的に導入し、藩費助成による内地留学制度を創設し1793年には医学館・好生堂を設立し、診療の質の担保を重視しました。健康保持にも心を配り地域で医療・社会福祉をカバーする領民を思った政策を実行しました。

3 地域包括ケア

少子高齢社会で地域の人口も減少していく中で住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム（地域包括ケアシステム）の構築が必要になってきます。これは鷹山公の「三助」の教えに相通じるものがあります。

4 おわりに

鷹山公は大きな変化の真ただ中に家督を継ぎ「慈愛」の心、「三助」の精神等で米沢藩を復活させました。いま私たちの地域、医療は少子・超高齢化の波による大きな変化に直面しています。

時代背景、置かれた立場は違っても、しなければならぬ課題は同じではないでしょうか。

鷹山公の教えを学び医療・地域再生を達成することは可能であると信じています。

(図) 鷹山公から学ぶ10の教え -医療再生での応用-

鷹山公から学ぶ10の教え	医療再生での応用
①「慈愛」の政治	① 利用者中心の医療の追及
② 産業の改革	② 地域医療の再生
③「倫理」と「経済」の絶妙なバランス	③ 「医療の質」と「経営の質」の担保
④ 自ら範を示した	④ 率先して医療再生に取り組む
⑤ 将来を見通して計画を立てた	⑤ 将来のあるべき医療像を示す
⑥「教育は国を治める根本」	⑥ 人材の教育、育成は最重要課題
⑦ 人材登用に秀でた	⑦ 育てた人材をうまく活用する
⑧「三助」の実践	⑧ 社会保障での支えあい
⑨ 政策の実行には勇気を持って行う	⑨ トップは権力ではなく責任を持つ
⑩ 発想の転換を図った	⑩ しがらみを離れた新たな価値創造

(プロフィール)

一九六三年三月米沢興譲館高校卒業
一九七〇年三月 千葉大学医学部卒業
一九七一年九月～一九七九年六月
脳神経外科・関連研修(米国)
一九七九年八月 浜松医科大学
一九九六年九聖隷浜松病院(院長)
二〇一一年十月～二〇一七年五月
聖隷浜松病院(総長)
(役職等の兼務)
二〇一二年四月
一般社団法人日本病院会 会長
二〇一七年六月
一般社団法人日本病院会 名誉会長

新入寮生の出発を祝う

東京支部総会・懇親会・歓迎会

平成30年6月3日(日) 於・四谷 主婦会館プラザエフ

▲支部新年会・予餞会

平成三十年二月三日、「主婦会館プラザエフ」で、出席者五十七名の会合となりました。五雲寺卓理事の司会で加藤国雄支部長の挨拶の後、上杉邦憲名誉会長と大滝則忠会長よりご祝辞を頂きました。館長より今年の寮生の卒業生は、八名との報告がなされました。

▲支部総会・新入生歓迎会

東京支部総会・懇親会・歓迎会は、平成三十年六月三日に主婦会館プラザエフで開催されました。第一部の「定期総会」は加藤国雄支部長が議長となり平成二十九年度の事業及び決算報告、平成三十年度の事業計画(案)及び予算(案)が承認されました。第二部の「懇親会・歓迎会」は、佐藤憲一理事の司会で開催されました。ご来賓の上杉邦憲名誉会長と大滝則忠会長よりご祝辞を頂きました。その後、新入寮生七名の自己紹介と抱負を述べてもらいました。

▲東京支部長に鈴木信之氏を選出

平成三十年九月二十九日の東京支部の第2回理事会で、加藤国雄東京支部長より持病のため今後もほぼ一定期間ごとの入院治療が予測されると診断されたことを報告されました。加藤支部長は現在、本部の総務部長も兼務しており、このような健康状態では二つの職務兼務を継続することは困難であるとして、東京支部長の辞任を申し出られました。辞任の申し出は承認され、審議の結果東京支部長に鈴木信之氏、副支部長に川合勝雄氏(留任)と宮坂孝夫氏が選出されました。



寮生と上杉名誉会長ご夫妻

新入寮生 「私の抱負」

安部光希

(多摩大学経営情報学部、高島高校)

私は、将来地元山形に戻り特産品を活かした製品の開発・販売を行う会社を企業したいと考えています。国内だけでなく国外にも情報発信し販路の拡大、さらに働き口の増加などにより雇用促進を進めることで地域活性化に繋がりたいと考えています。

井上太陽

(帝京大学経済学部、西山学院高校)

私は高校時代から寮生活をしてきました。この興譲館寮でも、寮生活による協調性を育み、学業やそれ以外の面にも力をいれ、充実した大学生活を送っていききたいです。具体的な抱負や目標等はありませんが、これから多くの経験をしていく中で見つけていけたらと思います。

木村周幹 (東京工科大学、コンピュータサイエンス学部、米沢興譲館高校)

私は大学生になって頑張りたいことは、勉強である。コンピュータ関係の学部に入っていたので、そこでしか学ぶことができないことをしつかり学び資格なども取ってきたい。また、様々なことに挑戦していきたい。東京だからこそできることが沢山あると思うので積極的に行動し身も心も成長していきたい。

近野清正

(学習院大学法学部、長井高校)

私は将来、地域の良さを全国に発信できるように町づくりがしたいと考えています。そのため大学では一般教養に加え、行政・法律など様々なことを学びたいと考えています。また、在学中の4年間でたくさんの人と接することが多くなると思うので、

様々な価値観に触れて物事を多角的に捉えられるような大人になりたいです。

鈴木皓大 (東京学芸大学教育学部、米沢興譲館高校)

私は東京に来て、頑張りたいことが二つあります。一つ目は寮や大学などで多くの仲間たちを作り、たくさんのおいしさを残すことです。二つ目は自分の夢である教師になるための知識や技術を大学で多く学ぶことです。将来、山形の高島町で教師として働いていけるように、多くのことを経験していきたいと思っています。

山本隼太郎 (早稲田大学先進理工学部、米沢興譲館高校)

私が大学生活で力を入れたいことは二つあります。一つは勉強です。大学の勉強は高校の勉強から飛躍的に難しくなるので、自ら学ぶ姿勢を心がけたいです。二つめは自己管理です。大学生は自由な時間が多いですが、自己管理を徹底し、けじめのある生活を送りたいです。

恵まれた環境に感謝し頑張ります。

米野敦之 (専修大学文学部、米沢興譲館高校)

私は高校の授業で地理に興味を持ち、大学でより深く地理について学びたいと思い地理学科に進学しました。また寮生活を通して、有意義な大学生活にするためにも、自分の行動に責任を持ち、たくさんのお仲間や先輩方と交流し自分の将来の視野を広げていきたいと思っています。

特別寄稿

日々雑感

「横出世」の世界 伊藤 育子

巻貝のくるとむけてものたりず

私の好きな句の一つである。作者は島田市教育長、村田武男。「もの足りず」がどうも物足りないのだと自作を語れば、吹奏楽にうつつを抜かす私の隣席が、これまた音楽をものとする者の目で見えた俳句論を評論家気取りで述べ立てる。果ては桑原の「第二芸術論」まで飛び出し、ますます活気を呈する。これで各々が作句



する気になれば最高だ。

この俳句談議に纏（まつ）わる人間関係は、いわゆる縦社会における上下の関係では全くない。自分の意志でいくらでも上げたり、質を高めたりしていくことのできる「横出世」の世界だ。縦社会における出世は所詮、他人が評価し、他人が決めてくれることである。人はこの縦社会の中で、満たされない欲求をかちながら、悪戦苦闘の何十年かを費やし、エンドレスのワ

ーカホリック症に罹っていく。欲求や欲望自体も、それと同じに退化していく中で突然、定年というピリオドを打たれてしまう。挙句の果てが「ぬれ落ち葉」では哀しいを通り越して哀れでさえある。そこにいくと「横出世」は断然強い。

いつでも、だれでも、どこでもできる肩書き抜きの世界だ。人の話にのることと、人の集まる場所にさえ出掛けられれば、一週間前の日曜日「青葉会」から、富嶽ビエンナーレ大賞受賞のお祝いに、鮮やかな赤のガーベラの花束をいただいた。

同窓会とか同級会とか過去を引きずるようなものは、一切興味を持たない私であったが、この日は大変身をしてしまった。

同じ仙台の大学で青春の一時期を過ごした共通項を唯一条件とする「青葉会」だが、これは「過去」どころではない「現在そのもの」であった。人が人を呼び、話が話と呼ぶ。この愉快な「横出世」のチャンスを長い間逃してきたのかと思うと、悔しい限りだ。

仕事の切れ目は縁の切れ目という。「肩書で勝負」の縦社会に確と首を突っ込みながら「肩書なしの横出世」も、

あだや疎かには出来ない。と書いてある処に、絵で知合った市民病院の戸塚先生から、私の本職である教育に関する貴重な資料が送られてきた。

プロフィール

米沢興譲館高校卒業
東北大学教育学部卒業
山形精華高校教諭
静岡県小・中学校教諭
静岡県議会議員（3期）
旭日双光章受章

美術家

NPO未来クリエート21理事長
富嶽ビエンナーレ大賞 絵画
・現代アートを中心に制作活動を行っています

平成30年7月7日
文化大学会場にて



戊辰戦争の「叛逆首謀」の汚名を一身に背負った米沢藩の総督



Hisanaga Irobe

色部久長 (1825 - 1868)

名門色部家の出身、
戊辰戦争で戦死

色部久長は、文政8年（1825）、篤長の嫡子として生まれました。通称である「色部長門」としても知られます。久長は藩校興譲館で学び、家督を継ぐと、江戸家老、奉行職（国家老）を務めます。慶応4年（1868）に戊辰戦争が始まると、奥羽越列藩同盟に与した米沢藩の総督（総司令官）として越後に出陣し、新潟で新政府軍と対峙しました。新潟では、民政に力を注ぎ、新潟港や市井における治安の安定に貢献、新潟の民衆から深く感謝されたと言われます。しかし、新政府軍が大挙して新潟を攻撃すると、久長は奮戦しますが、最後は、壮絶な戦死を遂げました。四十四歳の若さでした。

叛逆首謀の責任
と後生の顕彰

戊辰戦争は新政府軍の勝利に終わり、明治政府は列藩同盟に与した東北諸藩に「叛逆首謀」の責任者を届けるように命じました。米沢藩では、議論の末、戦死した久長を責任者として届けます。これにより色部家は家名断絶になった一方で、千坂高雅や甘粕継成など重臣たちの処分は免れました。久長一人が米沢藩の戦争責任を一身に背負い、死してなお米沢藩に尽くしたと評される所以です。その後、昭和7年に新潟市関屋の戊辰公園（久長の戦死地）内に、昭和34年には米沢市市制70年記念事業の一環で旧上杉伯爵邸敷地内に久長を偲ぶ「色部長門追念碑」がそれぞれ建立されました。共に現在に至るまで碑前祭が営まれており顕彰活動が続いています。



特別寄稿

鈴木脩二相談役を偲んで

米沢有為会 相談役 小森 力男

(昭和二十年 東京興譲館入舎)

相談役鈴木脩二様が、平成三十年三月二十八日に急逝されました。誠に愁傷の極みでございます。

ご生前を顧みますと、昭和六年四月十八日米沢市南堀端町のお生まれです。昭和二十五年米沢興譲館、昭和二十九年日本大学法学部をご卒業され、日本出版販売(株)役員、日販運輸(株)社長、(有)スズキライフ社社長を歴任されました。

米沢有為会では、本部・東京支部の役員として特に、平成二十一年の米沢有為会創立百二十周年記念事業において、記念祝賀会実行委員長として、献身的にお役目を果たされ功績は誠に大であります。

鈴木脩二さんとは、元東京興譲館長の金子芳雄さんと交



在りし日の鈴木脩二さん

2017年10月29日 園遊会にて

え時折談論を致しておりまして。或る日、本会の現状に話題が及び、不肖私の予てからの持論を出した。「次の米沢有為会の益々の発展、そして主たる目的である育英事業、即ち興譲館寄宿舎並びに奨学金制度の更なる充実を達成するには、会の根幹である会員の増強は不可欠である。それには、一般会員の増員は無論であるが、先ず有為会の育英事業の恩恵に浴し社会人と成った興譲館寄宿舎OB並びに奨学生OB・OGの全員が、感謝の念と有為会の発展に寄与する志で入会する事が必須である。」旨を披瀝した。

それに対して、舎生OBでない鈴木さんが、「実は私も全く同感であり他の会員にもその様な考えが有る。」と述べられた。この時のお話は深く印象に残っています。このご意見を重く心に受け止め機会あるごとに提言をさせて戴いております。

因みに、平成二十八年の名簿では、有為会員は一〇五六名です。住所が明確な舎生OBが六一二名の内一九三名が有為会に、入会しており入会

率は一八%です。

何卒、この未加入の事案について、有為会を挙げて対策を講じ確実に実行して、その目的を達せられることを切望して已みません。

最後になりましたが、謹んで御霊前に深く哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

短歌同好会

お盆花白く咲いてる我が庭に

夕陽静かに影残しゆく

(吉田数馬)

いにしえに小野小町も入りし湯に

肌を潤しからだを癒す

(嶋貫昭雄)

「おくりびと」ロケ地に

涼風吹きぬけて

鳥海山がどーんと鎮座す

(近藤郁子)

受けてみてはじめて知りぬ

賑やかな音もおかしきMRI

(樋渡三保子)

俳句同好会

「漆の実」

句会「漆の実」の近況

小山八州史・報

当句会開設者であり指導者であった鈴木淳一師が八月半ば突然の病のため逝去された。

会員の悲嘆あまりあり虚脱感は脱ぐえぬものがあつた。当面小山八州史が承継してゆく。

鈴木淳一師の句

桜守さくらに添うるものなしと

南風や箱よりティッシュひるがえる

会員の句 (季節順)

丸善にたてがきノート買ふ五月 登坂かりん

踏切灯打ち狂い吾の夏来たる 佐野 真

朝どれの大鯨夫の提げ帰る 松原 薫子

つくつくぼうし廊下の端に聞きあたり

池田弁之助

スペインの恋愛詩集読む大暑 濱田 扇風

紅重ね紅の零るる百日紅 片山 丹波

磐座に腰掛けしばし秋の澄む 太田 甘美

お転婆のカール居並び曼珠沙華 小山八州史

「歴史は駅伝のように」 上杉邦憲

米沢有為会 名誉会長

「戊辰戦争」150年の今年、各地で開催される式典や講演会などに参加することの多い日々ですが、そこで新たな発見をしたり、思わぬ人と人との繋がりに驚かされることが多い昨今です。

慶応4年(1868)3月14日の西郷隆盛と勝海舟の会談によって江戸城無血開城がなされたことは有名ですが同じ年の5月2日、長岡(小千谷)の慈眼寺で長岡藩家老上席・河井継之助と新政府軍監・岩村高俊の会談(小千谷談判)が行われました。主戦論者ではない河井継之助は長岡への侵攻中止と長岡の独立独行を主張しますが談判は決裂します。もしこの時の会談が、西郷・勝会談のように終われば、奥羽越でのその後の熾烈な戊辰戦争は防げたかもしれません。この時の河井継之助の相手が、後年(明治16年)沖縄県令上杉茂憲罷免の中心人物である岩村通俊の弟であり、通俊は茂憲を継いで第3代沖縄県令に就くという因縁が生じます。

そして、岩村を継いで第4代沖縄県知事となった奈良原繁は、16年にわたり知事を

務め、その間、人頭税など民に苦しい生活を強いる旧慣温存策を採ったのに加え、農民が管理していた山林を騙し取る「杣山問題」を起こすなどしています。この奈良原繁と対立したのが、茂憲が県令在任中に県費留学生として東京に送った5人の留学生の内、唯一平民だった謝花昇でした。謝花昇は、帝国農科大学を卒業した後、県外出身者が多数を占めていた沖縄県庁に技師として入り、沖縄の農政改革に努め、奈良原と杣山問題で対立して退職、沖縄倶楽部を結成して県政批判、土地整理問題、参政権獲得の三点を中心に活動を展開しますが挫折し、失意の内に43歳で死去します。

(故翁長沖縄県知事の下副知事・謝花喜一郎氏と謝花昇の関係は調査中です)

奈良原繁の次男に奈良原三次という人がいます。

この人は、日本の航空のパイオニアの一人で、明治44年(1911)自作の複葉機で飛行に成功、翌年日本で初めての民間飛行場を開設するなど、生涯にわたり航空の発展に寄与しました。

日本人の初飛行は、明治43

年(1810)12月の徳川好敏大尉のアンリ・ファルマン機によるものですが、奈良原三次はこの初飛行に対して助言や種々の機器を貸し与える等、多大な貢献をしたことが知られています。

徳川好敏は、徳川三卿の清水徳川家の生まれで、陸軍の飛行機研究会から、飛行機を学ぶための渡欧の打診があった時に、宗家の徳川家達公爵を訪ね許可を貰っています。家達は私の母敏子の祖父ですが、敏子は子供心に飛行機乗りの好敏に憧れていた、と話していました。私が航空学科で学び、そして宇宙への道に進んだのも、少なからず母の影響があったと思います。奈良原三次は、日本初の民間飛行場を開設しましたが、私が今、日本初の民間宇宙港の開設を目指して働いているのも、何かの縁なのかもしれません。

ジェームス三木さんの言われた「私たちは歴史というリレーのランナー」という言葉を正に実感として感じています。

編集後記

▼巻頭言は、ものづくりの基幹産業で高度成長から始まって、いろいろな荒波を体験され、企業のトップにも就任された齋藤脩氏に今後の日本のあり方について持論を述べて頂いた。

▼内村鑑三は、旧札幌農学校を卒業して五十年後に母校北海道大学中央講堂で全校二千の聴衆に向かってクランク博士で有名な「ボイス・ビー・アンビションヤス」(Boys be Ambitious)のテーマで講演をされた。その中で、前途の希望に邁進している者は、年は六十を越えてもなお「ボーイ」である。アンビション(Ambition)とは、将来自分が成し遂げてやろうとする仕事をしつかり決める精神を言う。それと同精神のエマソン(Emerson)の言葉で「汝の車を星につなげ」(Hitch your wheels to the star)を引用して学生を激励されている。第23回文化大学講演は、内村鑑三が学校設立や教育理

念に大きな影響を与えた基督教独立学園の前校長の安積力也氏にお願いしました。

▼憲法改正の動きもある。神戸女学院大学名誉教授の内田樹氏は、思想家で武道家(合気道師範)でもある。彼の著書「アジア辺境論」の中で、次のように述べている。自国領土を外国の軍隊が半永久的に占領している状態に対して反対運動を展開していない「愛国者」なんて世界広しといえども日本にしかない。観光立国で増え続ける観光客の対策のために、羽田空港に進入・離陸する飛行機の空域変更を駐留米軍に却下された。戦後七十年以上経過しても、首都である東京の空域の管理すら日本政府は思うように出来ないのである。

▼戊辰戦争150年の今年、米沢市報の米沢偉人伝の記事で初めて色部久長を知りました。今回米沢市広報課の了解を得て、記事の引用をさせてもらいました。(K・K)

新年会・予餞会のご案内

日時…平成31年2月10日(日)
12時半〜14時半(12時受付開始)

会場は主婦会館プラザエフ
多数のご参加をお待ちしています

編集委員メンバー

委員長……………川合 勝雄
米野 宗禎/佐藤 好明
鈴木 信之/倉田 和子
太田ひろみ/濱田 吾愛
近藤 郁子/宮坂 孝夫